

総括表

## 身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

氏名	○○ ○○	大昭平令	○年○月○日生(○)歳	(男)・女
住所	○○県 ○○市 ○○ △△番地			
1 障害名(部位を明記)	呼吸器機能障害			
2 原因となった 疾病・外傷名	新型コロナウイルス感染症		交通、労災、その他の事故、 <u>疾病</u> 、 自然災害、先天性、その他( )	
3 疾病・外傷発生年月日	昭 平 <u>令</u>	4 年 1 月 14 日	・ 場所	不詳
4 参考となる経過・現症(画像診断及び検査所見を含む。)	<p>令和4年1月14日に新型コロナウイルス感染症を発症した。これにより以前から合併していた間質性肺炎が増悪したため、ステロイド加療を開始した。呼吸器症状及び陰影は改善傾向にあったが、室内気吸入下で動脈血酸素分圧58Torr、指数49と肺活量の低下を認めるため、在宅酸素を導入した。現在、常時酸素(2ℓ/分)を投与しても数十mの歩行で呼吸困難が出現するため、外出が困難である。</p> <p style="text-align: right;">障害固定又は障害確定(推定) 昭平令 4 年 4 月 8 日</p>			
5 総合所見(障害認定に必要な事項、臨床症状、日常生活活動の制限、将来再認定について明記)	<p>新型コロナウイルス感染症により間質性肺炎が増悪した。新型コロナウイルス感染症から回復後も常時酸素(2ℓ/分)投与が必要であり、数十mの歩行で呼吸困難が出現するため、通勤を含めて外出が困難である。</p> <p><b>【 将来再認定: 不要 ・ 要(軽度化・重度化) ⇒ 再認定期間: 1年後・3年後・5年後】</b></p>			
6 その他参考となる合併症状	<p>上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付記する。</p> <p>令和 4 年 4 月 8 日</p> <p>病院又は診療所の名称 ○○クリニック      所 在 地 ○○県 ○○市 ○○ △△番地      電 話 番 号 (○○) ○○ - ○○ ○○ ○○      診 療 担 当 科 名 呼吸器内科 科 第15条指定医師氏名      (署名又は記名押印)      ※訂正がある場合は、訂正印等をお願いします。</p>			
<p>身体障害者福祉法第15条第3項の意見(障害程度等級についても参考意見を記入)      障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に</p> <p style="text-align: center;">・該当する。 ( 3 級相当 )</p> <p style="text-align: center;">・該当しない。</p>				

(注意)

- 原因となった疾病・外傷名には、原因疾患の明らかなものは、「肺結核」「肺気腫」等できる限り正確に記載してください。  
原因疾患の複数にわたるものは個別に列記し、また、肺機能、呼吸筋機能等の区別が明確になるよう記載してください。
- 障害区分や等級決定のため、内容についてお問い合わせする場合があります。

## 呼吸器の機能障害の状況及び所見

### 1 身体計測

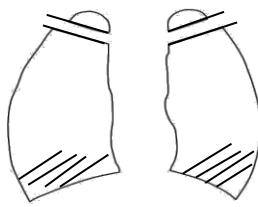
身長 165 cm 体重 55 kg

### 2 活動能力の程度 (該当するものを○で囲む)

- ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。(非該当)
- イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。(4級)
- ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。(4級)
- エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。(3級)
- オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。(1級)

### 3 胸部エックス線写真所見 (令和4年4月8日)

- ア 胸膜瘻着(無・軽度・中等度・高度)
- イ 気腫化(無・軽度・中等度・高度)
- ウ 線維化(無・軽度・中等度・高度)
- エ 不透明肺(無・軽度・中等度・高度)
- オ 胸郭変形(無・軽度・中等度・高度)
- カ 心・縦隔の変形(無・軽度・中等度・高度)



### 4 換気機能 (令和4年4月8日)

ア 予測肺活量 3.67 L (実測肺活量 2.10 L)

※右の予測式を用いて算出すること。  
予測式の適応年齢は男性18~91歳、女性18~95歳  
であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。

$$\begin{cases} \text{男 } 0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢} - 2.258 \\ \text{女 } 0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢} - 1.178 \end{cases}$$

イ 1秒量 1.80 L (実測努力肺活量 2.03 L)

ウ 予測肺活量1秒率 4.9.0 % ( $= \frac{\text{イ}}{\text{ア}} \times 100$ )

エ 測定困難な場合 [理由:]

### 5 動脈血ガス (令和4年4月8日:可能な限り安静時、室内気で測定)

ア O<sub>2</sub>分圧 58.0 Torr ( 室内気(ルームエアー))

イ CO<sub>2</sub>分圧 44.0 Torr ( 酸素投与 (投与量 ℥/分・濃度 %))

ウ pH 7.39

エ 採血より分析までに時間を要した場合    時間 10 分

オ 耳朵血を用いた場合 [ ]

### 6 その他の臨床所見(労作時のS<sub>p</sub>O<sub>2</sub>値、酸素療法導入の内容、開始日等を記載)

[在宅酸素導入中、常時酸素(2L/分)を使用している。]